



### 「私のおじいちゃん、おばあちゃん」



好藤小学校 五年 善家 千賀

私のおじいちゃんは、私が放課後の水泳練習や陸上練習で帰りが遅い時、いつも迎えに来てくれるやさしいおじいちゃんです。

おじいちゃんは、昔、好藤小学校で理科の先生をしていたそうです。私は、母からその話を聞いた時、おじいちゃんはすごいんだなあと思いました。

また、おじいちゃんは、みんなのために、お米を作ってくれています。おじいちゃんのお米はとてもおいしいです。米づくりがたいへんな仕事だということは、小学校でも勉強しました。おいしいお米をつくるおじいちゃんは、やっぱりすごいです。

他にも、おばあちゃんが庭で作業をする時のいすを木で作ってくれています。このようにみんなのために、がんばってくれているお

じいちゃんに、私はとても感謝しています。

おばあちゃんは、お父さんやお母さんが仕事でいそがしいので、私の食事の世話をしてくれています。おばあちゃんの料理は、何でもおいしいのですが、私は、その中でカレーが一番好きです。それは、牛乳やおしょうゆなど、いろいろな調味料が入っていて、とてもおいしいからです。私も五年生になったので、これからはお手伝いをしながら、おいしい料理の作り方を教えてもらいたいと思います。

私は、これまで、いろいろなことで、おじいちゃんとおばあちゃんに迷わくをかけてきました。

熱を出して寝ている時は、やさしくかん病をしてくれました。勉強でわからないところがあると、やさしく教えてくれました。おじいちゃん、おばあちゃんには、本当に感謝しています。

おじいちゃん、おばあちゃん、本当にありがとうございます。

これからも、まだまだ心配をさせたり、迷わくをかけたたりすると思います。よろしくお願ひします。

そして、おじいちゃん、おばあちゃん、いつまでも、いつまでも元気で長生きしてください。